

京都市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（令和3年11月30日京都市条例第19号）（行財政局人事部給与課）

諸般の状況により、特別職の職員の期末手当の支給割合の限度を次のとおり改定することとしました。

区 分		改 正 前	改 正 後
令和3年度12月支給分	市長 副市長 常勤の監査委員	100分の167.5	100分の157.5
	教育長 公営企業管理者	100分の222.5	100分の207.5
令和4年度以後支給分	市長 副市長 常勤の監査委員	100分の167.5	100分の162.5
	教育長 公営企業管理者	100分の222.5	100分の215

上記の改正のうち、令和3年12月に支給する期末手当に係る部分については令和3年12月1日から、令和4年度以後に支給する期末手当に係る部分については令和4年4月1日から実施することとしました。

京都市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を公布する。

令和3年11月30日

京都市長 門川大作

京都市条例第19号

京都市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

第1条 京都市特別職の職員の給与に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条第2項第1号中「100分の167.5」を「100分の157.5」に改め、

同項第2号中「100分の222.5」を「100分の207.5」に改める。

第2条 京都市特別職の職員の給与に関する条例の一部を次のように改正する。

第5条第2項第1号中「100分の157.5」を「100分の162.5」に改め、

同項第2号中「100分の207.5」を「100分の215」に改める。

附 則

この条例中第1条の規定は令和3年12月1日から、第2条の規定は令和4年4月1日から施行する。

(行財政局人事部給与課)